

## 産業建設分科会会議録

日時 令和3年9月30日(木)

午前11時45分開会 午前12時閉会

場所 第1委員会室

---

日程

1 開会

2 委員長挨拶

3 協議・説明事項

(1) 議案第58号 令和3年度土浦市一般会計補正予算(第8回)

4 閉会

---

出席委員(8名)

委員長 平石 勝司

副委員長 柏村 忠志

委員 内田 卓男

委員 寺内 充

委員 矢口 清

委員 柳澤 明

委員 小坂 博

委員 勝田 達也

---

欠席委員(0名)

---

説明のため出席した者(5名)

副市長 栗原 正夫

都市政策部長 船沢 一郎

都市計画課長 飯泉 貴史

産業経済部長 佐藤 亨

商工観光課長 羽成 健之

財政課長 山口 正通

---

傍聴者 0名

---

事務局職員出席者 松本 裕司

---

○平石委員長 では、協議事項にまいります。議案第58号令和3年度土浦市一般会計補正予算（第8回）について審査を行います。執行部から説明願います。

○飯泉都市計画課長 都市計画課でございます。サイドブックの本会議の令和3年、第3回定例会、事前配布資料、議案第58号令和3年度土浦市一般会計補正予算（第8回）をお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、8ページをお願いいたします。一番下、三つ目でございます7款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費につきましては、18節負担金補助及び交付金のうち補助金といたしまして、地域交通関連事業者運行継続緊急支援金を支給するに当たり、2,075万5,000円の増額補正をお願いするものでございます。本事業につきましては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用いたしまして、市民の皆さんの重要な移動手段である路線バス等の運行継続に努めております地域交通関連事業者に対しまして、支援金を支給するものとなっております。対象となる事業者といたしましては、路線バス・貸切バス・タクシー・運転代行を行う事業者とするものでありまして、交付金額につきましては、車両の所有台数に応じた額を支給するものでございます。説明は以上となります。よろしくをお願いいたします。

○平石委員長 ただ今の件について、御質問等ありますか。

（「なし」との声あり）

○平石委員長 では、産業建設分科会としての賛否をお諮りします。議案第58号令和3年度土浦市一般会計補正予算（第8回）について、賛成の方は挙手をお願いします。

（全員挙手）

○平石委員長 全員賛成でございます。これで産業建設分科会を閉会いたします。お疲れ様でございました。そのほか、執行部からありますか。

○羽成商工観光課長 商工観光課でございます。コロナに負けるな応援チケットプレミアム付き商品券の追加販売について、実施主体でございます商工会議所のほうで追加販売の準備が整いましたので御案内申し上げます。お手元に追加販売のちらしをお配りしております。販売につきましては、本日までが販売期限となっております。今月半ばまでの販売状況について会議所から報告を受けている状況では、60パーセント販売となっております。こちらについては、70パーセントを見込んでおります。残り3割分、2万セットについての追加販売をかけたいということで、10月3日から10月15日まで、ハガキ又は商工会議所のQRコードにより抽選販売をさせていただきたいと存じます。抽選については、25日までにお手元に配送する予定でございます。購入希望数については3冊を限度とし、販売場所のほうも、市内郵便局23か所から絞らせていただきまして、郵便局5か所とイオンモール、新治商工会の7か所での販売とさせていただ

だく予定です。ホームページ、市の広報紙で御案内してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○勝田委員 このチラシは、コストもダウンできるやり方だと思のですが、配布に関しては、何に入れるのですか。

○羽成商工観光課長 こちらにつきましては、市役所の支所、出張所、公民館、商工会議所のほうに案内してございます。また、市のホームページでも御案内してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○内田委員 これさ、私が女房の名前で申し込むのはオッケーなのかな。そういうチェックはできるのか。

○羽成商工観光課長 抽選作業につきましては、商工会議所のほうでパソコンに入力して、事務的に当落をつけていくと伺っておりますので、一世帯に一つという御案内ではないとのことでございます。

○内田委員 要するに、一世帯で3セットまでということじゃなくて、可能性として一世帯に複数の当選の可能性があるということか。

○羽成商工観光課長 はい、そのとおりです。

○内田委員 分かりました。ただ、この情報は事前にホームページで見てるんだよ。もっと前に委員会に概要の案内があってもよかったと思っています。

○羽成商工観光課長 申し訳ありませんでした。遅滞なくお伝えできますよう努めてまいります。

○勝田委員 今の内田委員と関連なのですが、同じ人が複数当選する可能性もあるのですか。

○羽成商工観光課長 同一人物が複数の当選とならないよう、行わせるようにしたいと存じます。

○小坂委員 これは、土浦市民でないといけないんですか。

○羽成商工観光課長 土浦市民限定という取決めはしておりませんが、市民優先で抽選を行っていくというように伺っております。

○柳澤委員 今ね、市の税金でやるから市民優先という話だったが、このチケットは土浦市内で使えるんだ。この目的は市内の小売業者の応援ということであれば、今まで、チケットの売上げが6割、7割であるようなら、市外の人にもどんどん買ってもらうほうが趣旨には沿うのではないかと思うんだけど、どうだろうか。

○羽成商工観光課長 柳澤委員のおっしゃるとおりで、そもそもの趣旨は事業者の支援、市民の支援ということで進めてまいりました。一方で、市民の税金を使わせていただいている面もございまして、市民の方に案内してまいりました。今回は、これを完売させたいということで、抽選という形で追加販売をいたします。一方で、市外の方が

当選して、市内の方が抽選に外れてしまったというお声もありました。

○柳澤委員 市の一般財源は、どのくらい入っているんだっけ。国の地方創生臨時交付金でまかなっているんじゃないのか。結論として、土浦市民の税金はこの事業に対して入っているのかという話を聴きたいのです。

○山口財政課長 財源更正の後の議決を頂いている状況ではございませんが、その後の話ということだと、総事業費が7億2,314万3,000円となっており、このうち、交付金が3億5,913万8,000円です。一般財源のほうは、3億6,400万5,000円となり、5割程度に一般財源が当たることとなります。

○柳澤委員 じゃあ、2分の1は市の一般財源か。そのようだと、市外の話はなかなか、しづらいな。市外の人にも買ってもらってという話に、両手を挙げて賛成とは、ならない。だったら、市民限定と決めてしまったほうがいいのではないか。どうなんだい。

○羽成商工観光課長 その辺については、会議所のほうと調整させていただきます。

○内田委員 調整すると言いうけれども、会議所が市外の人に売るとなったら、それを駄目と言ってくれるのか。

○羽成商工観光課長 市内の方だけで完売ができるかどうかということも、分からない部分もありますので、最初から市外を全て排除するところまでは、考えておりませんでした。

○佐藤産業経済部長 おっしゃるとおりだと思うのですが、どうしても、チケットを使ってもらいたいところですが、市内の人でも使わない方がいらっしやると思います。それで、事業者の応援に重きを置きたいところがございますので、追加販売に限っては、販売を市外にまで広げさせていただきたいということで、御理解をいただきたいと思えます。

○柳澤委員 一般の方からすると、チケットの使い勝手がよろしくないんだよね。使える店も決まってしまうし、これは来年度以降もやるのであれば、3割も4割も残ってしまうか、担当課には考えてもらいたい。耳に痛い話だろうけれど、こんな期限のないようではなく、もっと早くアクションを起こしてもらいたいんだよね。がんばってちょうだい。

○小坂委員 前回のときにも売れ残って再抽選して、それでも売れ残ったんじゃないのかな。前回の様子から、そのようなことも分かるんじゃないかと思えます。

○羽成商工観光課長 前回につきましても、一部残りまして、再抽選を行い、3回目の販売を行いました。そのようなこともございまして、今回につきましても、2回目の販売で売り切れるかの心配もございまして。

○平石委員長 それでは、最後に佐藤部長、どうぞ。

○佐藤産業経済部長 以上のような御意見を踏まえまして、今後ともノウハウを蓄積し

ていきたいと思います。前回はこの時期に4割残っておりました。今回は残りが3割でしたので、まだまだと思いますので、今後ともがんばりたいと思います。

○平石委員長 それでは、最後に勝田委員、どうぞ。

○勝田委員 実際のところ、前回、買いたかったけれど落ちちゃったという人がいまして、それでいて完売できなかったというのは、どういうことなのでしょう。ですから、皆さんの意見を総合すると、市内の希望者には売り切るよう御配慮いただきたい。更にいいものにしてもらいますよう、よろしくをお願いします。

○柳澤委員 最後にいいかな。地元の個人商店が半分、後はどこでもいいというような色分けだったよね。目的は二つあって、市民サービスと事業者支援で、今の重点は事業者支援に重きが置かれているけれども、市民サービスという観点からは、全てのチケットを市内どこでも使えるようにしてやればいいんだよね。そうすれば、売れ残りなんか、出ないよ。来年度以降、市民サービスに軸足を置くのならば、それくらいやってもいいんじゃないかなと思います。

○内田委員 あのさ、売れ残りが出るっていうのは、抽選のやり方がおかしいんじゃないか。抽選やって余るっていうのは、おかしいと思うんだよ。しっかり、やってくれ。

○平石委員長 よろしいでしょうか。それでは、委員の皆様から大事な御意見がありましたので、是非、そういったところも御検討いただきたいと思います。以上で、分科会を閉会したいと思います。ありがとうございました。